

『銅御蔵御掛物御歌書極代付之帳』翻刻

| | |
|-----|---|
| 著者 | 小野 真由美, 恵美 千鶴子 |
| 雑誌名 | 美術研究 |
| 号 | 425 |
| ページ | 24-34 |
| 発行年 | 2018-07-02 |
| URL | http://doi.org/10.18953/00008936 |



『銅御蔵御掛物御歌書極代付之帳』翻刻

凡例

以下に、『銅御蔵御掛物御歌書極代付之帳』（東京文化財研究所蔵）を翻刻する。翻刻は小野真由美（東京文化財研究所）、恵美千鶴子（東京国立博物館）が行った。翻刻にあたっては、以下の点を配慮した。

- 一、字体は、原則として常用漢字を用い、略字・俗字は改めた。
 - 二、変体仮名は、平仮名に改め、片仮名は原文通りとした。また、助詞に用いられる「而」「茂」「者」は片仮名に改めた。
 - 三、踊り字については、平仮名は、漢字は々で示した。
 - 四、原本にある朱線は、（朱線）として示した。
 - 五、丁付けは、半丁ごと末尾に「を」を付し、一丁表は（1オ）、二丁裏は（2ウ）などのように示した。
 - 六、表紙、見返し、内表紙、内表紙見返し、本文、のはじまりには亀甲括弧内に「表紙」などのように注記した。貼紙は、（貼紙）と注記し、貼り付けられた箇所につづけて鍵括弧内に記した。
 - 七、欠字は□とし、（欠カ）と右傍に注記した。
 - 八、原文の誤りと思われる箇所や意味の通らない箇所には（ママ）、疑問の残る箇所には（カ）と右傍に注記した。
 - 九、濁点は、原文通りとした。
 - 十、本文の行取りは、割注記もふくめ、原則として原本通りとした。
- （謝辞）翻刻にあたり、大塚秀哉氏（大正大学大学院）のご教示に預かった。また、本稿はJSPS科学研究費一六K〇二二九二の成果の一部である。

〔表紙〕

銅御蔵御掛物御歌書極代附之帳

〔見返し〕

〔中川文庫〕（朱文長方印）

〔昭和四年二月 日購入〕

〔美術研究所所蔵〕（朱文長方印）

〔内表紙〕

〔月在天心〕（白文方印）

元禄四^{辛未}年正月日

狩野洞雲
同 養卜

銅御蔵

御掛物御歌書極代付之帳

古筆見了珉
同 了仲

〔内表紙見返し〕

〔花迺家文庫〕（朱文長方印蔵書票添付）

〔本文〕

御掛物

寛文七^未年三月廿三日

（朱線）

一 虚堂墨蹟

右正筆代金七拾五枚

右上々之上代金五百枚

延宝五年^巳二月九日

玉室

一 虚堂墨蹟 沢庵添状

江月

右正筆代金七拾五枚

右上々之上代金五百枚

貞享式年^丑七月廿七日

一 虚堂墨蹟

右正筆代金七拾五枚

右上々之上代金五百枚

寛文六年^午七月廿八日

一 円悟墨蹟

右正筆代金五拾枚

紀伊大納言殿

御隠居^{上ル}

古筆見

了珉

古筆見

了仲

」（一才）

藤堂大学頭

遺物

了珉

了仲

松平相模守

隠居^{ニ上ル}

了珉

了仲
」（一ウ）

松平阿波守

遺物

了珉

右上々代金貳百枚

了仲

寛文元年^丑六月廿四日

(朱線)

式部入道

加藤休意

寛文五年^巳六月廿四日
(朱線)

一 定家七首和歌

土井大炊頭

右正筆出来上々代金拾五枚

了珉^{上ル}

右正筆代金三拾枚

了珉

右上々代金三拾枚

了仲
「(2才)

右上々代金百枚

了仲
「(3才)

寛文九年^酉六月廿八日

(朱線)

一 定家小倉色紙

松平対馬守

つくはねの哥

遺物

右正筆代金五拾枚

了珉

右正筆代金五拾枚

了珉

右上々代金百五枚

了仲

寛文九年^酉五月十二日

一 義経願書

保科肥後守

寛文拾三^丑八月七日

(朱線)

一 定家之色紙

板倉内膳正

かくとたに

遺物

右正筆代金百枚

了珉

延宝貳年^寅八月十三日

御小納戸^{ヨリ}出^ル

右上々代金百五枚

了仲
「(2ウ)

右正筆代金五拾枚

了珉

貞享元年^子十月廿七日

一 定家卿筆

堀田筑前守

あハぬ夜の哥

遺物

右正筆代金七拾五枚

了珉

寛文拾貳年^子三月十四日

金森飛驒守

右中代金三拾枚

了仲

一 仙竺僊墨蹟

遺物

右見覺不申候

了珉

右上々代金貳百枚

了仲
「(4才)

延宝貳年^寅二月七日

(朱線)

一 古岳墨蹟 一行物

片桐石見守

遺物

右正筆代金參枚

右中代金拾五枚

了珉

延宝貳年^寅六月五日

(朱線)

一 琦楚石墨蹟

松平越前守

遺物

右正筆代金貳拾枚

右上々代金貳枚

了珉
了仲
「(4ウ)

延宝四年^辰八月廿六日

(朱線)

一 仏智墨蹟

松平兵部大輔

隱居^{ニ上ル}

是ハ 一位様^江被存進候

右見覺不申候

右上々代金百枚

了珉

天和四年^子二月廿七日

(朱線)

一 岳飛真蹟

加藤内蔵助

遺物

右見覺不申候
右中之上代金三拾枚

了珉
了仲
「(5才)

寛文六年^午五月廿八日

一 出山之絵 大弁筆
印月江讚

小出大和守

遺物

右之絵上々但大弁と申筆ハ吟味

仕候得共知レ不申候故代付不仕候

同絵上々筆者覺不申候

右之讚難見定奉存候

同讚上々代金百枚

狩野養卜
了珉
了仲
「(5ウ)

寛文拾一年^亥三月廿日

一 塞翁之絵 梁楷筆
一山賛

紀伊大納言殿

御遺物

右之絵梁楷とは不被存候其外

筆者之存寄無御座候

右絵上々但梁楷とハ見得不申候

一山自画自賛ニテ可有御座候

右之讚斗代金五枚

同讚上代金七拾枚

同 養卜
了珉
了仲
「(6才)

延宝七年^未六月十一日

一 布袋之絵 癡絶賛
卒翁筆

土屋但馬守

遺物

右之絵正筆代金拾貳枚五両

同絵上々代金七枚五両

右之讚正筆讚斗代金拾枚

狩野洞雲
同 養卜
了珉

同讃上代金七拾枚

了仲 一 (6ウ)

同讃上々代金貳百枚

了仲 一 (8才)

天和貳年^戌七月廿六日

默庵筆

一 布袋之絵 印月江賛

松平新太郎

相阿弥外題

遺物

右之絵默庵^{ニテ}ハ上々代金七枚五兩

狩野洞雲

但絵斗

同絵上々代金貳枚五兩

同 養卜

右之讃正筆讃斗代金貳拾枚

了珉

同讃上代金七拾枚

了仲 一 (7才)

貞享元年^子六月廿二日

(朱線)

牧溪^(マキ)筆

一 猿猴之絵 偃溪讃

太田撰津守

遺物

寛文四年^辰七月十三日

一 徽宗皇帝猫之絵

上杉播磨守

右之絵出来中之上代金拾五枚

狩野洞雲

同絵上々代金貳枚五兩

同 養卜

右之讃正筆讃斗代金七枚五兩

了珉

同讃上々代金五拾枚

了仲 一 (7ウ)

貞享元年^子十月十三日

卒翁筆

一 布袋之絵 癡絶賛

青山大膳亮

遺物

右之絵上々代金貳拾五枚

狩野洞雲

同絵上々之上代金貳拾五枚

同 養卜

右之讃正筆讃斗代金拾枚

了珉

寛文八年^申十一月十三日

一 梁楷布袋之絵

小出大隅守

遺物

同上々代金拾貳枚五兩

狩野洞雲

同上々代金拾枚

同 養卜

万治貳年^亥五月朔日

一 竹雀 牧溪^(マキ)筆

阿部備中守

遺物

同上々但ぬれ雀名物

狩野洞雲

同上々但名物

同 養卜 一 (8ウ)

万治三年^子四月廿七日

一 廬山瀑布図 玉澗筆

酒井空印

同上々之上但名物

狩野^{上ル}洞雲

同上々之上

同 養卜 一 (9才)

寛文三年^卯三月十八日

一 平沙落雁 牧溪筆^(マモ)

西門跡

遺物

右上々但名物

狩野洞雲

右上々

同 養卜

同日

一 遠浦歸帆 牧溪筆^(マモ)

右同断

右上々但名物

狩野洞雲

同上々

同 養卜 一(9ウ)

三幅対之内中 寛文五年^巳六月廿四日

一 洞庭秋月 牧溪筆^(マモ)

土井大炊頭

右上々之上但名物

狩野洞雲^{上ル}

同上々之上

同 養卜

一 川苣 牧溪筆^(マモ)

探幽法印

遺物

右上々之但名物

狩野洞雲

同上々之上

同 養卜 一(10オ)

一 山水之絵 古法眼筆

御小納戸^{ヨリ}出ル

右古法眼絵之内ニテ上々之上代金拾五枚

狩野洞雲

同絵之内ニテ上々上代金拾五枚五両

同 養卜

天和三年^多六月十八日

(朱線)

一 福祿寿之絵 梁楷筆

稲葉美濃守

右上々之上但名物

同断

貞享三年^寅九月廿六日

(朱線)

一 柳燕之絵 牧溪筆^(マモ)

松平日向守

右上々之上代金貳拾五枚

遺物

同上々代金貳拾五枚

狩野洞雲

同上々代金貳拾五枚

同 養卜

元禄十四年^辛巳六月十九日

(朱線)

一 三幅対 中寿老人

古法眼筆

代千貫

左右山水

丹羽玉峰

遺物

狩野洞雲

同 探信

同 探雪 一(11オ)

水戸中納言殿

御隠居^{上ル}

了仲

一 定家小倉色紙

やすらわて

代金三百枚

一 定家小倉色紙

ほと、きす

代金貳百枚

酒井雅楽頭

^{上ル}

了仲

元禄十五年^午九月十二日

一 無準布袋 自画

自讃

本庄安芸守

上ル
「(11ウ)

右ハ御成之節於宅献上

代金三拾枚

一 百首和歌 徹書記筆

右正筆出来上代金五両程

右代金三枚

了珉
了仲

了珉
了仲
「(13ウ)

讃斗代金貳百枚

了仲
「(12才)

一 一休詠歌 卷物

夏十五首書是

《白》

「(12ウ)

右代金拾枚

了珉
了仲

御歌書

万治元年^戌十二月十日

(朱線)

一 定家伊勢物語

松平肥前守

遺物

右正筆出来中 代金百枚

但書是筆不知與書為広

右上々代金百枚

但書是東下野守

古筆見

了珉

古筆見

了仲
「(13才)

寛文拾貳年^子四月十五日

一 新古今集 二条家為親筆
四冊

右正筆代金七枚五両

但内貳冊書次有之

右代金貳拾枚

高田様

御遺物

了珉

了仲

寛文六年^午六月晦日

一 千載集 為明筆

添状有之

紀伊大納言殿

御内室^{ヨリ}遺物^{上ル}

延宝六年^午十一月廿八日

御書物藏^{ヨリ}
出ル

了珉
了仲
「(14才)

一 韻歌 冷泉為之筆

壹冊

松平新太郎

御内室遺物

右為尹筆奥書為之筆代金五枚

了珉

右代金拾五枚

了仲 一 (14ウ)

天和三年十二月廿一日

一 山谷筆 一軸

有馬中務大輔

右正筆出来中代金七枚五両

了珉^{上ル}

右見覺不申候山谷とハ不被存候

了仲

(貼紙)「見事ニ相見申候得共類筆

度々見覺不申候ニ付難申上候

了音 一

延宝八年^{庚申}年

一 長恨歌伝 尊円親王筆

一卷

日光御門跡

守澄御遺物

右正筆出来上奥書尊道正筆代金拾枚

了珉

右近衛龍山尊円ニテハ無御座候代金貳枚

了仲 一 (15オ)

寛文四年^辰四月七日

一 小町集 行成筆

貳卷

保科肥後守

^{上ル}

右正筆出来上代金拾枚

了珉

右代金五枚

了仲

(貼紙)「右代金貳拾五枚」

貞享貳年^丑十月十七日

一 古今和歌集 飛鳥井雅親筆

青山和泉守

遺物

右正筆代金五枚

了珉

右飛鳥井雅綱代金五枚

雅親ニ仕候テモ代金同断

了仲 一 (15ウ)

寛文十一年^未五月二日

一 王義之^(マツ) 卷物

松平右衛門佐

右見覺不申候

了珉^{上ル}

右中代金貳拾枚

了仲

寛文四年^辰四月七日

一 往来帖 道風筆

保科肥後守

右不宜

了珉^{上ル}

右伏見院佐理流被極候物ニテ御座候

了仲

代金五枚 道風ニテ御座候ハ代金拾枚

一 (16オ)

寛文四年^辰四月七日

一 一百八字形 佐理筆

保科肥後守

右不宜

了珉^{上ル}

右代金五枚

(朱線) 家隆筆

一 源氏系図 添状二通

御奥ヨリ出^ル

札貳枚

右正筆出来中代金^(欠カ) 枚程

了珉

右世尊寺定成代金拾枚

了仲 一 (16ウ)

天和三年^(亥カ)十二月廿一日

一 一耕隱図 春齊点有

右下唐絵不知筆者

右之図筆者見覚不申候

其上見事ニ無御座候

右之語見覚不申物ニテ御座候得共

奥書之通ニテ可有御座候と奉存候

同語存哥無御座候

建部内匠頭

狩野洞雲^{上ル}

同 養卜

了珉

了仲
「(17才)」

(朱線) 哥大納言為氏御筆

一 古哥仙 絵土佐守藤原行広筆

但探幽外題有之

右之絵中但女筆之土佐

右之絵中代金五枚

但上能御卷ニテ御座候

(貼紙)「但代付之儀壹哥人之様子を
承合吟味之可申上事」

右之哥為氏正筆出来上

言葉書斗代金七枚五両

同為相卿筆代金五拾枚

為氏卿筆ニテモ代金五拾枚

御奥ヨリ出ル

吉良若狭守^{上ル}

狩野洞雲

同 養卜

了珉

了仲

「(18ウ)」

万治貳年^(亥カ)五月晦日

一 一休歌仙 三十六枚

右之絵見覚不申候

同絵患敷御座候但哥正筆ニ候ハ

絵モ霏^(カ)リ可申候

右不宜

右代金三拾五枚正筆

「(17ウ)」

一 百鬼夜形^(マメ) 土佐筆

御奥ヨリ出ル

水戸宰相殿

狩野洞雲^{上ル}

同 養卜

一 西行物語 言葉書為家筆

絵土佐光信筆

右之絵土佐光信筆上々上

右之絵上代金七枚五両

但光信時代ヨリ古ク相見得申候

(貼紙)「光信ヨリハ古ク能有見得申候 但代付之儀ハ

言葉不書承合吟味之上可申上事」

右之言葉書為家正筆出来上

言葉書斗代金壹枚

同言葉書為家筆代金三枚

右正筆出来見事ニ奉存候代金五枚

御奥ヨリ出ル

狩野洞雲

同 養卜

了珉

了仲

了音
「(18才)」

一 馬之絵十四疋図^{子昂筆 一卷}

右唐絵下但子昂ニテ無御座候

同断子昂ニテハ無御座候

一 二十八祖図^{唐絵 四卷}

右明朝末之唐絵不及代

右新敷唐絵筆知不申候不及代付

一 鞠之絵 舜拳筆

御奥ヨリ出ル

酒井空印

狩野洞雲^{上ル}

同 養卜

右唐絵中舜拳ニテ無御座候

筆者知レ不申候

右上但舜拳とは見得不申候得共

見事成絵ニテ御座候代金三枚

貞享貳年^丑十月三日

経尹

一 倭漢朗詠集 二卷

経定
行房

御西院御遺物

右正筆出来上代金貳拾枚

了珉

元禄三年^{庚午}五月二日

一 尊円親王筆蹟

日光御門跡

天真御遺物

右正筆奥書尊応筆代金七枚五両

了珉
「(20才)

一 猿猴絵 門無関筆

戸田山城守

遺物

右之絵正筆代金三拾枚

狩野洞雲

可仕由三人共ニ申上候

同 探信

同 探雪

一 人形絵 李龍眠筆

安藤対馬守
遺物

右之絵正筆代金三拾枚

狩野養卜

可仕由三人共ニ申上候

同 探信

同 探雪

「(20ウ)

狩野洞雲

(朱線)

一 詞花集 転法輪実重筆

松平大炊頭

隠居^{上ル}

右正筆代金三枚可仕候

了仲

右正筆出来上代金三拾枚

了仲

奥書烏丸光広 外題飛鳥井雅章

了音

一 東坡 軸物

御小納戸^{ヨリ}出

右正筆代金五拾枚可仕候

了仲

右哥書にて様々度々類筆見覺不申候併

段々唐筆奥書御座候上無相違見事奉存候

了音
「(21才)

一 祝枝山 軸物

御小納戸^{ヨリ}出

右正筆代金三拾五枚可仕候

了仲

一 祝枝山 軸物

御小納戸^{ヨリ}出

右正筆代金貳拾枚可仕候

了仲

右祝枝山二卷共ニ哥書にて様々

度々類筆見覺不申候見事とハ奉存候

了音
「(21ウ)

一 詞花集 十卷

御小納戸^{ヨリ}出

公家衆寄合書

各言葉書別紙ニ有之

右新筆故見覺不申候

了仲

右正筆代金拾五枚

了音

同日極ル 中陶淵明

一 三幅対 左右芦雁^カ

牧野備後守

古法眼筆

直シ物ニテ付難申上候

狩野養卜

同 探信

同 探雪
「(22才)

宝永元串年九月十一日 御納戸方出_ル 二条家為世卿筆

一 和漢朗詠集 二軸

本庄因幡守

献上

宝永三_{丙戌}年 十一月十五日極_ル

出来上々代金五拾枚

了仲

右同断

了音
「(22ウ)

〔奥扉〕

「隅坂十一代主写藏記」(朱文長方印)